

## 年間第16主日の説教

金 大烈 神父 2010年7月18日(日)

### 《関心》

主の平和！

私は20年位前から始まった一つの趣味があります。それは写真を撮る事です。その趣味を持った時から、どのアングルで撮ればその写真を通して言いたい事を伝えられるか、感じた事をどのように表現できるのか、その為に自分の感覚を全て研ぎ澄まして写真を撮る事に集中していました。今は忙しくてほとんどカメラに触る事はありませんが、以前渋谷にいた時は時間があつたので、自然の美しさ、生き物等を撮り、満足していました。その時は高速を速いスピードで走っていても自分の撮りたい対象物は雑草でも、野ばらでも必ず目に入りました。それを見つける力はなんなのでしょうか？ それは関心があつたからです。

逆の話をしますと私は電話番号や人の誕生日は絶対覚える事が出来ません。母の誕生日ですら毎年妹から教えてもらいます。それは数字に対して関心が無く、あまり自分の生活には役に立たないと感じているからです。英語や日本語等の単語は一度聞けば覚える事が出来ます。それは生きる為に関心を持たなければならないからです。しかし数字は0から9までの10個の数字の組み合わせです。電話番号や車のナンバーを覚えようとすると頭がおかしくなってしまう。

皆様もいろいろな関心お持ちですね。一番大きい関心はなんなのでしょうか？ 経済、家族、健康、等多様な関心があると思います。その関心の中でも内容は大小様々だと思います。意識的な関心もあると思いますが、自然に心が向く関心があると思います。その関心はなんでしょう。

今日の福音(ルカ 10・38-42)でマルタとマリアの話が読まれました。この話は以前に十分説明してありますので、今日は別の観点からの話をしたいと思います。その為に関心の話の先にしました。

健康に関心を持つのは当然で望ましいことです。金も関心を持ち、どうすれば正しく福音的に利益を出し福音的に利用する事が出来るのかを考えるのは当たり前です。いろいろな事に関心を持つことは相応しいと思います。しかし沢山の関心を持ちながら本当に持たなければいけない関心を感じていない生活、それが私達ではないのでしょうか？ いつか考えなければならない関心、その関心はなんなのでしょうか？ それは神様ではないのでしょうか。神様とは永遠の命です。結局私達にとって一番大きい関心が死とつながっている永遠の命になれば今私達は今より相応しく望ましい生き方が出来ると私は確信します。

皆様、結局関心の問題です。何故自分は信仰の生活を人に勧められないのか、教会に来て感じる事が出来ないのか、その一番大きい理由は関心です。関心は簡単に説明すると心の注ぎです。本当に必要な物に心を注いで下さい。そうすれば怖い位に力が入ってきます。

皆様、信仰、神様、愛の分かち合い、いろいろな素晴らしい言葉が沢山あります。それとあまり関係無い事に9割以上力を注いだら決して幸せになる事はありません。

イエス様は今日の福音ではっきりおっしゃっています。「必要な事はただ一つである。」先週ここで一緒にミサを捧げ、そして急に亡くなった川田様の事を人間的に思い出すと、何も出来なかった「虚無感」以外の表現は出来ません。しかし、昨日喜びの内に彼を神様の所に見送る事が出来たのは、自分にとって一番関心のある神様の事を考え思い出す事が出来たからです。彼が良い所で安らげるようにと祈りが自然に出て安心して手を離せたのです。

私達は必ず捕まえていなければいけない事を少なくとも一日何回でも意識しながら過ごして欲しいです。

別の話になりますが、先週の宿題覚えていますか？ 毎日一日5回笑いましたか？

多分1割位の人が一日3回笑う事で終わったんでしょう。もう一度約束しましょう。一日5回笑って下さい。

ありがとうございました。